令和９（２０２７）年度
九州大学大学院生物資源環境科学府
外国人留学生入試（冬季実施・４月入学）
学生募集要項

令和８(2026)年１１月

九州大学大学院生物資源環境科学府

生物資源環境科学府のアドミッションポリシー

２１世紀の人類的課題である食料問題と環境問題を克服し、食料・生活資材の安定供給、生物生存環境の保全、人類の健康と福祉に貢献するため、生命科学、環境科学、社会科学などの学問分野に強い関心と専門基礎知識を有し、国内外を問わず、将来生物資源環境科学諸分野で活躍を目指す意欲的な学生を求めている。

各専攻のアドミッションポリシー

・資源生物科学専攻

本専攻では、人類に課せられた最重要課題の一つである食料問題の克服を基本理念として、陸圏、水圏を包括した食料資源生物の持続的安定供給、革新的生産技術、保護管理および資源生物生存環境の保全を目指し、分子・細胞から生態系にまで至る幅広い専門知識と先端的技術、深い洞察力および豊かな創造性を併せ持つ人材を体系的、組織的に育成することを教育目標とする。生命の営みや生物生産の仕組みに関心をもち、将来、 食料問題の解決や、生物生産を支える豊かな環境の創造に挑戦しようとする意欲をもった人物を期待する。

・環境農学専攻

本専攻では、生物生産環境、生物生存環境の保全・修復・創生と資源の生産・加工・利用を図り、環境と資源利用が調和した高度で持続可能な社会の構築に寄与する人材を体系的、組織的に育成することを教育目標とする。先端的知識、包括的思考力、高度な課題探求・解決能力の修得と学際的かつ国際的に活躍するために必須となる英語、化学、生物学、物理学、数学、経済学などの基礎学力、および研究遂行のための熱意・能力・資質をもった人物を期待する。

・農業資源経済学専攻

本専攻では、社会科学総合の観点から、国際フードシステムの社会経済問題に関する高度な研究能力と国際性を備えた指導力を持つ人材を体系的・組織的に育成することを教育目標とする。そのために必要となる英語、経済学及び各研究分野の基礎知識を広範に修得し、熱意を持って研究を推進できる能力を有する人物を期待する。

・生命機能科学専攻

本専攻では、複雑な生命現象の発現と調節に係る機能素子の作用機構の解明とデザイン、細胞内ネットワークシステムの構成要素(分子)間の相互作用の解明、有用微生物やバイオマスの機能を利用した持続型・低環境負荷型有用物質生産技術の確立、食の機能性・安全性・製造技術など総合科学としての食科学に関する広範な専門知識と総合力、深い洞察力および豊かな創造力を養うことを教育目標とする。生物機能分子とそのシステム、生物機能の工学的応用、および食科学に強い関心を持ち、それらの分野を取り巻く課題に果敢に挑戦しようとする強い意欲をもった人物を期待する。

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、令和９(2027)年４月までに入国済若しくは入国可能な者。

(修士課程)

(1) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者。

(2) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、学士の学位を得た者で、本学府において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者。

(博士後期課程)

(1) 外国で修士論文の審査を受け、修士の学位を得た者。

(2) 本学府において、修士の学位を得た者と同等以上の学力を有すると認めた者で 24 歳に達したもの。

注１）各号において、学士又は修士の学位を令和９(2027)年３月までに取得見込みの者を含む。

注２）出願資格(2)による出願者は、出願に先立ち 6.に記載する出願資格の事前審査を受けなければならない。

2. 募集専攻及び募集人員

募 集 専 攻	募集人員
資源生物科学専攻	若干名
環 境 農 学 専 攻	若干名
農業資源経済学専攻	若干名
生命機能科学専攻	若干名

注）募集を行わない研究分野

【修士課程のみ】

・資源生物科学専攻　動物・海洋生物科学教育コースの家畜生体機構学研究分野、動物繁殖生理学研究分野、水産生物環境学研究分野

・生命機能科学専攻　システム生物工学教育コースの細胞制御工学研究分野、微生物工学研究分野

【修士課程・博士後期課程】

・資源生物科学専攻　動物・海洋生物科学教育コースの家畜生産生態学研究分野

・環境農学専攻　サスティナブル資源科学教育コースの高分子材料学研究分野

・農業資源経済学専攻　農業資源経済学教育コースの国際農村開発学研究分野

・生命機能科学専攻　生物機能分子化学教育コースの微小管ダイナミクス研究分野

【博士後期課程のみ】

・生命機能科学専攻　生物機能分子化学教育コースの植物栄養学研究分野
システム生物工学教育コースの家蚕遺伝子資源学研究分野、真核細胞微生物学研究分野

※各専攻の研究分野等については、15～16 頁を参照のこと。

3. 入学志願に当たっての留意事項

入学後のミスマッチを防ぐため、願書を提出する前に、受験を希望する研究分野の指導教員に必ず事前に連絡を取り、面談を行うこと。面談の形態は問わない。

教員の連絡先は、九州大学研究者情報(https://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/html/home_ja.html)から確認できる。研究者情報に連絡先の記載がない場合は、5.(5)の出願書類提出先に連絡すること。

なお、入学後に専攻・研究分野を変更することは原則として許可されない。従って、志望専攻・研究分野の決定に当たっては、研究内容等について充分に検討し、受入れ予定の指導教員と相談した上で出願すること。

4. 願書受付期間

令和８(2026)年 12 月７日（月）から令和８(2026)年 12 月 10 日（木）17 時まで（郵送の場合も同日の同時刻までに必着のこと。）

5. 出願手続

(1) 出願受付

出願を希望する場合は、要項掲載の日から令和８(2026)年 12 月 10 日(木)17 時までに、下記 URL より出願受付登録を行うこと。

https://forms.office.com/r/s3CtcGd3QD

(2) 提出書類　※ 各自で印刷が必要な書類については、必ず **A4 サイズ**にて印刷すること。

提出書類等	注意事項
入学願書 受験票 照合票	本学府所定の様式を各自で印刷し、漏れなく記入すること。 ※ 鉛筆使用および摩擦等で消えるボールペンは使用不可。 出願3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽の写真を所定の位置に貼ること。
卒業証明書等 (出願資格(2)による出願者は不要)	【修士課程】 出身大学が発行した卒業(見込み)証明書。 【博士後期課程】 出身大学が発行した修士課程修了(見込み)証明書。
成績証明書 (出願資格(2)による出願者は不要)	【修士課程】 出身大学が発行した成績証明書。 【博士後期課程】 出身大学が発行した修士課程成績証明書。
修士論文	【博士後期課程のみ】 修士論文(写)又は申請中の修士論文(写)
在留カード等	【入国済者】在留カード(両面)及びパスポート(顔写真があるページ)の写し。 【未入国者】パスポート(顔写真があるページ)の写し。
外国語資格試験	【修士課程】 専攻ごとに指定された外国語資格試験のスコア証明書の写しを提出すること。詳細は 7 頁を参照すること。 ※ 環境農学専攻および農業資源経済学専攻は、出願要件にスコアが設定されているので留意すること。 【博士後期課程】 外国語資格試験のスコア提出**(農業資源経済学専攻)**については 14 頁を参照すること。 ※ 出願要件にスコアが設定されているので留意すること。
入学検定料の支払いを証明する書類	① コンビニエンスストア以外でお支払いの場合 E-支払いサイトの「申込内容照会」の結果を印刷すること。 ② コンビニエンスストアでお支払いの場合 支払いを証明する書類を、各自が印刷した本学府所定の様式に貼付すること。
受験票発送用封筒	**長形3号**(23.5 ㎝×12 ㎝)の封筒に、出願する者の郵便番号、住所、氏名を明記し、410 円分の切手(速達料金を含む。)を貼ったもの。

(3) 入学検定料の支払い

入学検定料　30,000 円

入学検定料は次の方法で令和８(2026)年 11 月 30 日（月）以降に納付すること。

・下記 Web サイトで手続きすること。
https://e-shiharai.net/　詳しくは 18 頁を参照すること。

※ 入学検定料の免除については、12. を参照のこと。

※ 願書受理後は記載事項の変更・検定料の払い戻しはできない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については返還するので、5.(5)の出願書類提出先へ連絡すること。

(4) 出願方法

(1)の出願受付を済ませた上で、(2)の提出書類を一括し、所定の期日までに 5.(5)の出願書類提出先へ持参または郵送すること。郵送の場合は、必ず書留速達とし、封筒表面に「**外国人留学生入試願書在中**」と朱書きすること。

(5) 出願書類提出先

九州大学農学部等事務部学生課学生係

〒819-0395　福岡市西区元岡 744　ウエスト５号館３階 322

電話 (092) 802-4508, 4509

E-mail noggakus@jimu.kyushu-u.ac.jp

(6)受験票について

受験票が試験日の１週間前になっても郵送で届かない場合及び受験票を紛失した場合は、5.(5)の出願書類提出先へ連絡し、試験前日までに受領すること。

6. 出願資格の事前審査

1.の出願資格の(2)による出願者は、出願に先立ち出願資格の事前審査を行うので、次の書類を 5.(5)の出願書類提出先へ提出すること。

なお、郵送の場合は、必ず書留郵便として封筒表面に「**外国人留学生入試事前審査**」と朱書きすること。

(1) 提出書類　※ 各自で印刷が必要な書類については、必ず**A4 サイズ**にて印刷すること。

提　出　書　類　等	注　　意　　事　　項
出願資格認定申請書	本学府所定の様式を各自で印刷し、必要事項を漏れなく記入すること。 ※ 鉛筆使用および摩擦等で消えるボールペンは使用不可。
最終学校の卒業(修了)証明書	最終出身学校が発行したもの。
最終学校の成績証明書	最終出身学校が発行したもの。
学修歴、活動歴、実務経験等	現在までの学修歴、活動歴、実務経験等(以下「学修歴等」という)について、具体的に自由形式で記述したものを提出すること。 なお、学修歴等については下記①～④のような事項が考えられる。 また、学修歴等に関する著書、論文、報告書等があれば添付すること。 ① 大学、短期大学、高等専門学校等における学修歴 ② 研究機関、教育機関、企業等における実務経験等 ③ 海外における国際的団体等での活動経験 ④ 英語を含む語学力
返　信　用　封　筒 (資格審査結果送付用)	長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、事前審査を受ける者の郵便番号、住所、氏名を明記し、410 円分の切手(速達料金を含む)を貼ったもの。

(2) 提出期間

要項掲載の日から令和８(2026)年 11 月 13 日（金）17 時までの期間

(3) 審査結果

審査の結果については、令和８(2026)年 11 月 25 日（水）までに申請者あてに通知するので、資格があると認定された者は、5.の出願手続を行うこと。

7. 選抜方法

【修士課程】

事前提出された外国語資格試験スコア、筆記試験、口頭試問、成績証明書を総合して行う。専門科目の出題範囲については、8～13 頁を確認すること。

【博士後期課程】

事前提出された外国語資格試験スコア（農業資源経済学専攻のみ）、筆記試験、口頭試問(過去の研究的活動実績の報告を含む)、成績証明書を総合して行う。口頭試問の詳細については、14 頁を参照のこと。

8. 試験日、試験科目、試験時間及び場所

【修士課程】

月日(曜)	試験科目	時間	集合時間
1月19日(火)	専門科目	9:30～11:30	9:15
	口頭試問	13:00～	各教育コース等の指示による
1月20日(水)	日本語(作文)	10:00～11:00	9:50

【博士後期課程】

月日(曜)	試験科目	時間	集合時間
1月19日(火)	口頭試問	13:00～	各教育コース等の指示による
1月20日(水)	日本語(作文)	10:00～11:00	9:50

＜受験上の注意＞

・試験は、伊都地区ウエスト５号館で行う。
・試験室及び試験時間割は、受験票発送時に通知する。
・修士及び博士後期課程の口頭試問の方法は各教育コースで決定し、事前に受験者に通知する。
・試験当日は、各試験科目の集合時間を厳守すること。
・携帯電話等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、必ず電源を切ること。
・遅刻による試験室への入室限度時刻は試験開始後30分である。なお、交通機関の事故又はやむを得ぬ事由により、試験開始後30分以上遅刻した者は、監督者に申し出ること。
・試験終了までは、退室できない。

9. 合格者発表

令和9(2027)年2月5日（金）11時に、九州大学農学部Webサイトのトップページ【NEWS】(https://ag.kyushu-u.ac.jp/news/)に掲載するとともに、合格者には本人あてに通知を郵送する。なお、電話による合否の問い合わせには応じない。

10. 入学手続について

入学手続書類は、合格発表日に合格通知とあわせて合格者あてに送付するので、所定の期日までに入学手続を完了させること。

(1) 入学手続期間

令和9(2027)年3月上旬頃

(2) 入学料及び授業料

入学料：２８２,０００円（予定額）
授業料：〔半期分〕２６７,９００円（予定額）　〔年額〕５３５,８００円（予定額）

※ 入学料・授業料については、入学時までに改定が行われた場合には、その改定額を適用する。また、授業料について在学中に改定が行われた場合には、改定時から新授業料を適用する。
※ 日本国政府の国費留学生については授業料のみ不要。

11. 障害等のある入学志願者について

本学府では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を受け付けています。
受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することがありますので、令和8(2026)年11月25日（水）までに5.(5)の出願書類提出先まで相談してください。

12. 入学検定料の免除について

(1) 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるものは、次に該当する者です。

ア　東日本大震災、平成２８年熊本地震、平成３０年７月豪雨、北海道胆振東部地震、令和元年台風第19号、令和２年７月豪雨、令和６年能登半島地震および令和８年熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、準半壊または準半壊に至らない損壊（一部損壊）と判断された場合、流失した場合

② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

※ なお、上記災害救助法適用地域以外で被災した志願者で、上記①、②のいずれかに該当する者については、学務部入試課(092-802-2004)へご相談ください。

イ　東日本大震災において、居住地が福島第一原子力発電所事故により、避難指示区域（計画的避難区域を含む）に指定された者

(2) 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする場合は、あらかじめ農学部等事務部学生課学生係(092-802-4508)へ連絡し、該当すると判断された方は、入学検定料免除申請書（九州大学 Web サイトからダウンロード、URL：https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/exemption/）に、次のうちいずれかの証明書等を添えて出願書類とともに提出してください。

なお、申請が認められた場合は、出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

ア　(1)ア①に該当する場合
　　り災証明書

イ　(1)ア②に該当する場合
　　死亡又は行方不明を証明する書類

ウ　(1)イに該当する場合
　　被災証明書

13. 個人情報の取り扱いについて

(1) 出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜で利用するほか、住所・氏名を合格者に対する入学手続の案内業務に利用します。

(2) 出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜後本学への入学を許可された者について、学籍関係業務等に利用します。

(3) 入学者選抜試験の成績及びその他の個人情報は、１年次における奨学生への推薦資料並びに入学料免除及び授業料免除等の選考資料として利用します。

(4) 入学者選抜試験で利用した個人情報は、個人が特定できない形で、本学における入学者選抜に関する調査・研究資料として利用します。

(5) 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜試験の結果等の個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、上記４項目以外の目的で利用することはありません。また、取得した個人情報を「個人情報の保護に関する法律」その他関連法令により認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。

外国語試験【外国人留学生－修士課程】

・外国語試験は下記の外国語資格試験**スコア証明書（写し）※を入学願書とともに提出すること。**

・**試験当日スコア証明書（原本）を必ず持参すること。スコア証明書（原本）は以下のものとする。**

＜日本国内で TOEIC(L&R)を受験した場合＞

※ 紙の公式認定証、もしくは、デジタル公式認定証を印刷したものとする。

＜海外で TOEIC(L&R)を受験した場合＞

※ 海外受験のデジタル公式認定証（PDF）では、日本国内で証明書の確認がとれないため、紙の公式認定証とする。

＜TOEFL-iBT を受験した場合＞

※ Test Taker Score Report(PDF)を印刷したものとする。

・試験スコアの正式な証明書の取得には時間がかかる事に留意すること。

専攻	事前提出する外国語スコア証明書
資源生物科学	TOEIC(L&R)
環境農学	※ 出願要件 TOEIC(L&R) 550 点以上または TOEFL-iBT 57 点以上
農業資源経済学	※ 出願要件 TOEIC(L&R) 550 点以上または TOEFL-iBT 57 点以上
生命機能科学	TOEIC(L&R)

(1) スコア証明書とは、実施団体が発行したもので、TOEIC(L&R)の Official Score Certificate（公式認定証）または TOEFL-iBT の Test Taker Score Report（受験者成績書）を指す。いずれのスコアも出願書類提出時から**２年以内**のものに限る。

(2) 以下のスコアは認められない。
TOEIC IP、カレッジ TOEIC、TOEFL ITP テストなどの団体受験制度
TOEIC Speaking and Writing、TOEIC Bridge、TOEIC IP Score Report など

(3) 注意事項

・**環境農学専攻**および**農業資源経済学専攻**は、出願要件にスコアが設定されているため、**出願期間内に設定スコア以上の外国語スコア証明書（写し）を提出できない者は願書を受理しないので留意すること。**また、設定スコアは外国語試験の合格を意味しない。

・**資源生物科学専攻**および**生命機能科学専攻**の受験者で、TOEIC(L&R)を受験しているが、出願期間内にスコアが届かない場合は、願書に受験した月日を記載し、スコア証明書が届き次第、「速やかに」写しを提出すること。入学試験日以降は受理しない。なお、**資源生物科学専攻**および**生命機能科学専攻**は、TOEFL-iBT では受験できないので留意すること。

・出願時より新しいスコア証明書（原本）を持参してもよい。最終的な評価は当日持参のスコア証明書（原本）のみに拠る。原本に関しては試験当日の本人確認後、本人へ返却する。

・試験当日スコア証明書（原本）を忘れた場合は、令和 9 (2027)年 1 月 22 日（金）17 時までに、九州大学農学部等事務部学生課学生係へ持参又は郵送すること。
なお、郵送の場合は、返信用封筒を同封のうえ、令和 9 (2027)年 1 月 22 日（金）17 時必着とする。
スコア証明書（原本）提出について、提出期限厳守とし期限を過ぎてからの提出は認めない。

専門科目出題範囲【外国人留学生－修士課程】

① 出願者は志望研究分野の専門科目を受験する。
② 専門科目は、以下の専門及び専門基礎両方の領域を含む。
③ 過去に出題された問題については、ホームページ（https://ag.kyushu-u.ac.jp/graduate_school/post_216/index.html）を参照すること。

資源生物科学専攻

教育コース	研究分野		出題領域	主な出題範囲
農業生物科学	植物育種学	専門	植物育種学	植物遺伝育種学（武田和義著、裳華房）、植物育種学（鵜飼保雄著、東京大学出版会）、植物育種学（奥野員敏編著、朝倉書店）など、植物育種学に関する教科書。
		専門基礎	遺伝学	エッセンシャル遺伝学・ゲノム科学　原著第7版（化学同人、D.L.ハートル）（日本語），Essential Genetics and Genomics, Seventh Edition （英語）
	作物学	専門	作物学	作物学の基礎Ⅰ（農文協、中村聡、後藤雄佐、新田洋司著） また、過去に出題した問題を参照のこと。
		専門基礎	植物生理学	テイツ、ザイガー植物生理学・発生学（培風館、L.ザイガー、E.ザイガー編、西谷和彦、島崎研一郎監訳、第6版）：第Ⅲ部。また過去に出題した問題を参照のこと。
	植物生産生理学	専門	植物生産生理学	作物生産生理学の基礎（農文協、平沢・大杉編）の第3、4、6～8、10、11章 植物バイオサイエンス（共立出版、川満・実岡編）の第2、3、6、7章
		専門基礎	植物生理学	植物生理学第3版（培風館、テイツ・ザイガー編）の第1、4、8、9章
	植物病理学	専門	病害と防除	「微生物と植物の相互作用」（百町満朗・對島誠也編） また、過去に出題した問題を参考のこと。
		専門基礎	植物病理学	「植物病理学」（文永堂出版、眞山滋志・難波成任編）、「植物病理学」（東京化学同人、大木理編）
	園芸学	専門	園芸学	「園芸学」（文永堂出版、金浜耕基編）、「（農学基礎シリーズ） 園芸学の基礎」（農山漁村文化協会、鈴木正彦編著）。過去に出題した問題も参照のこと。
		専門基礎	生物学	「（生命科学のための基礎シリーズ） 生物」（実教出版、星 元紀ほか著） 「植物生理学」（テイツ・ザイガー編、西谷・島崎訳、第3版、培風館）の第19－24章
	動物学	専門	動物発生学	ウィルト発生生物学（東京化学同人、FH Wilt, SC Kake著、第1版）：第一部発生の開始（3ページ）～第三部脊椎動物の器官形成（160ページ）まで。過去に出題した問題も参考のこと。
		専門基礎	動物学	哺乳類の生物学① 「分類」（東京大学出版会、金子之史著）の内、1. 分類学とはなにか、2. 分類学と哺乳類 （1～46 ページ）、および哺乳類の生物学②「形態」（東京大学出版会、大泰司紀之著）の内、1. 体の基本構造、3. 運動系、4.歯。過去に出題した問題も参考のこと。
	昆虫ゲノム科学	専門	昆虫ゲノム科学	分子昆虫学−ポストゲノムの昆虫研究−（共立出版、神村学他編） 過去に出題した問題も参考のこと。
		専門基礎	分子遺伝学	エッセンシャル遺伝学・ゲノム科学（原著第7版）：第1章～12章 過去に出題した問題も参考のこと。
	昆虫学	専門	昆虫分類学	教養のための昆虫学（東海大学出版部、平嶋義宏・広渡俊哉編著） また、過去に出題した問題を参考のこと。
		専門基礎	基礎昆虫学	朝倉農学大系7 農業昆虫学（朝倉書店、藤崎憲治・石川幸男編）の3、7章、ビジュアル図鑑 昆虫驚異の科学（河出書房新社、D・グリマルディ編）
	天敵微生物学	専門	昆虫病理学	最新 昆虫病理学 （講談社、国見裕久 ・ 小林迪弘編著） ： 第2章微生物と昆虫～第6章ウイルス病 （P. 14～P. 145） 、 第9章昆虫における生体防御～第10章昆虫病理学の展開 （P. 182～P. 243） を出題範囲とする。また、過去に出題した問題を参考のこと。
		専門基礎	微生物学	バイオテクノロジーテキストシリーズ「新・微生物学」 （講談社、別府輝彦著） 、 基礎生物学テキストシリーズ4「微生物学」 （化学同人、 青木健次編著）
	天敵昆虫学	専門	生物的防除学	IPM、生物的防除、天敵昆虫に関する問題（バイオロジカルコントロール（朝倉書店）、総合的害虫管理学（養賢堂）など）
		専門基礎	生態学、進化生物学、応用昆虫学	生態学、進化生物学、応用昆虫学、天敵昆虫に関する問題（生態学入門、1章から8章（日本生態学会編，東京化学同人）第2版、バイオロジカルコントロール（朝倉書店）、総合的害虫管理学（養賢堂）など）
	生物保護管理学	専門	応用昆虫学	総合害虫防除、侵入害虫問題、生物的防除の基礎に関する問題、（応用昆虫学の基礎(中筋ら）朝倉書店など）
		専門基礎	生態学	行動生態学、個体群生態学、群集生態学、動物生態学(伊藤ら）蒼樹書房
	農業生産生態学	専門	農業生産生態学（作物学，園芸学を含む）	「新訂 食用作物」（養賢堂、国分牧衛著），「園芸学」（文永堂出版、金浜耕基編），「園芸学の基礎（農学基礎シリーズ）」（農山漁村文化協会、鈴木正彦編著）、「植物育種学　第5版」（文永堂出版、北柴大泰・西尾剛編）、過去に出題した問題も参考のこと。
		専門基礎	生物学	「生物（生命科学のための基礎シリーズ）」（実教出版、星 元紀ほか著），過去に出題した問題も参考のこと。
	生物環境調節学	専門	生物環境調節学	新農業環境工学（日本生物環境調節学会編，2004年・養賢堂）
		専門基礎	生物学	コア講義　生物学（田村隆明著，2008年・裳華房），主に「第11章 植物の生き方」から出題，同じカテゴリならば他の生物学教科書でも概ね共通する基礎的事項について出題する.
	熱帯作物・環境学	専門	熱帯作物・環境学（主として作物学，園芸学）	「熱帯作物学」（朝倉書店、志和地弘信・遠城道雄 編）、「エッセンシャル植物生理学 農学系のための基礎」（講談社、牧野周・渡辺正夫・村井耕二・榊原均著）。
		専門基礎	熱帯農学	「熱帯農業概論」（築地書館、田中明編著）：第1章、5～8章、11章、12章 「熱帯農学概論」（培風館、江原宏・樋口浩和編）：第1～7章、10章、11章
	昆虫産業創生学	専門	昆虫産業創生学	昆虫科学が拓く未来(東京大学学術出版会，2009年，藤崎憲治，西田律夫，佐久間正幸 著）
		専門基礎	分子生物学	ウィーバー 分子生物学(科学同人、第4版、Robert F.Weaver 著)(日本語）
	衛生昆虫学	専門	衛生昆虫学	衛生動物の事典 (朝倉書店）
		専門基礎	分子生物学	ワトソン遺伝子の分子生物学 第7版(東京電機大学出版局）
	昆虫DX	専門	プログラミング	Python [完全] 入門（SB Creative、松浦健一郎・司ゆき著）
		専門基礎	基礎昆虫学	教養のための昆虫学（東海大学出版部、平嶋義宏・広渡俊哉編著）の第2・3・9・14章。 地球温暖化と昆虫（全国農村教育協会、桐谷圭治・湯川淳一編）の第2章。
	昆虫食科学	専門	昆虫食科学	昆虫機能利用学　鈴木 幸一 (著) 朝倉書店
		専門基礎	分子生物学	ベーシックマスター分子生物学 (オーム社出版局）

資源生物科学専攻

教育コース	研究分野		出題領域	主な出題範囲
動物・海洋生物科学	家畜生体機構学			今回は入学生の募集を行いません
	動物繁殖生理学			今回は入学生の募集を行いません
	畜産化学	専門	食肉科学、骨格筋科学	畜産物利用学（文永堂出版、斎藤忠夫ら著）：第2章「肉の科学（p. 123-213）」および「最近のトピックスと諸問題（食肉および加工食品 p.283-287）」; 乳肉卵の機能と利用（アイ・ケイ コーポレーション、玖村ら編）: p. 117-260; 筋発生の細胞生物学（学会出版センター小沢鍈二郎ら著）: p. 1-46, p. 153-181, p. 196-212; 身体運動・栄養・健康の生命科学Q&A 骨格筋と運動（杏林書院、跡見ら編）を出題範囲とする。過去に出題した問題を参照のこと。
		専門基礎	基礎細胞生物学	上記の範囲から出題するが、細胞生物学に関する基礎的な知識として、以下の教科書の指定範囲の内容を習得することを求める。 Essential細胞生物学 原著第5版（南江堂、B. Albertsら著 中村桂子ら監訳）：第4、7、11-14、16-18、20章
	代謝・行動制御学	専門	動物時間生物学	時間生物学（化学同人、海老原史樹文・吉村崇編）第1～7, 12, 13章
		専門基礎	動物生理学	新編家畜生理学（養賢堂、加藤和夫・盧尚建・古瀬充宏編著）
	家畜生産生態学			今回は入学生の募集を行いません
	動物生命科学	専門	動物生命科学	ニワトリの科学（古瀬充宏編集、朝倉書店）:「3章 ニワトリの特徴」、「4章 ニワトリの栄養」、「7章 ニワトリの発生と遺伝子工学」、「8章 卵の特徴」、「9章 肉の特徴」 ギルバート発生生物学第2版（メディカル・サイエンス・インターナショナル、阿形清和ら監訳）第13章「鳥類と哺乳類」、第19章「沿軸中胚葉：体節と体節由来組織の発生」、第20章「中間中胚葉と側板中胚葉：心臓、血球、腎臓」、第21章「四肢動物の肢の発生」、第22章「内胚葉；消化・呼吸を担う管構造と器官」
		専門基礎	分子細胞生物学	Essential細胞生物学 原著第5版（南江堂、B. Albertsら著 中村桂子ら監訳）：第1章「細胞：生命の基本単位1」、第7章「DNAからタンパク質へ　細胞がゲノムを読み取るしくみ」、第8章「遺伝子発現の調節」、第10章「遺伝子の構造と機能の解析」、第16章「細胞のシグナル伝達」
	海洋生物学	専門	魚類生殖生理学	魚類生理学の基礎（恒星社厚生閣、会田勝美編）
		専門基礎	魚類生理学	水圏生物科学入門 （恒星社厚生閣、会田勝美編）
	水産増殖学	専門	水産生物学	以下の2領域から1領域を選択 1.「魚類学の百科事典」（丸善出版）の第4章、第5章、第6章、第9章 2.「藻類30億年の自然史　第2版」（東海大学出版部）の第1～6章、11章、12章、「水産海洋ハンドブック　第3版」（生物研究社）の第2章第1節
		専門基礎	生態遺伝学	「生態遺伝学入門」（丸善出版）
	水産生物環境学			今回は入学生の募集を行いません
	アクアフィールド科学	専門	応用生態学・水産養殖学	以下の2領域から1領域を選択 1. 本研究分野のウェブサイトに掲載している2014年以降の発表論文のうち、左記出題領域に関連するもの。http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/jikkensho/onikurafield/gyoseki.html 2. トコトンやさしい養殖の本（日刊工業新聞社）第1章、2章、4章、5章、8章
		専門基礎	水圏生態学・無脊椎動物学	以下の2領域から1領域を選択 1. 社会基盤と生態系保全の基礎と手法（朝倉書店、皆川朋子編集幹事） 2. 動物の系統分類進化学（浅倉彰・河村真理子・和田洋編/丸善出版）：第8章12節軟体動物門、13節環形動物門、第9章1節節足動物門、第10章1節棘皮動物門
	水族分子発生学	専門	進化生態学	生態進化発生学 エコ-エボ-デボの夜明け / スコット・F・ギルバート著（東海大学出版部）第1章、2章、6章、9章
		専門基礎	発生生物学	発生生物学 (Basic Master Series) – 東中川 徹, 西駕 秀俊, 八杉 貞雄 (共編集)オーム社　4章、13章、14章、15章
	水族発生毒性学	専門	生命工学	以下の2領域から1領域を選択 1. 本研究分野のウェブサイトに掲載している2020年以降の発表論文 https://kyushu-u.pure.elsevier.com/ja/persons/ka-fai-william-tse 2. Introduction to Biotechnology. Pearson 4th edition (Global edition) chapter 3, 7, 10, 11, 13
		専門基礎	細胞生物学	Essential細胞生物学（南江堂、原書第4版）：4-12,　16-20章を出題範囲とする。
	動物栄養生理学	専門	動物生化学	ハーパーの図解生化学 (ロドウェル、ケネリら著) 第1, 4, 6, 9章
		専門基礎	鳥類生理学	スターキーの鳥生理学 (コリン・G・スキャンズ編集) 第4, 14, 22, 23, 26, 33, 37章

環境農学専攻

教育コース	研究分野		出題領域	主な出題範囲
森林環境科学	植物代謝制御学	専門	植物生理学	テイツ、ザイガー植物生理学・発生学（第6版：講談社、L.テイツ、E.ザイガー、I.M.モーラー、A.マーフィー編、西谷和彦、島崎研一郎監訳）：1、2、7、8、9、10、15、16章
		専門基礎	生物学	エッセンシャル細胞生物学（第4版：南江堂、中村桂子、松原謙一翻訳）：7、8、9、10、14、16、17章
	森林計画学	専門	森林計画学	森林計画学入門（朝倉書店、田中和博他編著、2020年）：第１章、第２章、第４章、第５章、第７章から第１０章 森林・林業白書（全国林業改良普及協会、林野庁編、試験の前年度に発行されたもの）の全領域
		専門基礎	基礎統計学	初等統計学（培風館、ポール G.ホーエル (著), 浅井 晃・村上 正康 (翻訳)、第4版、1981年）の全領域
	森林保全学	専門	砂防学、治山学、水文学	1）新砂防工学（朝倉書店、塚本良則他編著、1991年）： P2～134、145～155 （山腹緑化工および海岸砂防含む、雪崩は除く砂防学全般）、2）砂防学（朝倉書店、丸谷知己編、2019年）： p22～95（斜面崩壊、地すべり、土石流、火山泥流と火砕流、流木流、土砂流出、深層崩壊と天然ダム、がけ崩れ）、P149～187（土砂災害）、P188～225（砂防技術）、3）森林水文学入門（朝倉書店、大槻ら編、2022年）第5～6章、10～14章
		専門基礎	地形学、地質学、気象学、水理学、土質力学、水文統計学	1）新砂防工学（朝倉書店、塚本良則他編著）：第9章<砂防の基礎知識> P156～181（水理学概要・土質力学概要、地形地質調査法概要）、2）砂防学（朝倉書店、丸谷知己編、2019年）： P18～22（日本列島と環太平洋の概要）、p104-148（地形解析・水文解析・河川水理解析・降雨解析・安定解析）、3）森林水文学入門（朝倉書店、大槻ら編、2022年）第1～3章、16章
	造林学	専門	造林学	1）造林学 三訂版（朝倉書店、川名 明 編著）：Ⅲ. 種苗、Ⅳ. 更新、Ⅴ. 保育 2）造林学 第四版（朝倉書店、丹下 健・小池孝良 編）：第１章から第８章および第１１章 3）森林遺伝育種学 （文永堂出版、井出雄二・白石進編、2012年）： 第２章p19～69、第３章p75～136、第5章p237～280
		専門基礎	生物学	エッセンシャル キャンベル生物学 [原書6版]（丸善出版、池内昌彦・伊藤元己・箸本春樹 監訳）：第１部、第２部、第3部13・14・16、第４部
	森林政策学	専門	森林政策学 林業経済学	1）日本の森林管理政策の展開―その内実と限界―（日本林業調査会、柿澤宏昭著、2018年）の全領域 2）森林・林業白書（全国林業改良普及協会、林野庁編、試験の前年度に発行されたもの）の全領域
		専門基礎	経済学、社会学	社会科学入門（ミネルヴァ書房、奥和義、高瀬武典、松元雅和、松本竜也著、2020年）の全領域
	森林生産制御学	専門	森林生態学 樹木学	1. 森林生態学（朝倉書店、石井弘明他編集、2019年）：全章 2. 樹木学（築地書館、ピーター・トーマス、2001年）：第2章～第5章、および木材科学講座2 組織と材質（海青社、古野・澤辺編、2011年）：全章 1か2のいずれかを選択。
		専門基礎	生物学	コア講義 生物学（改訂版:裳華房、田村隆明著、2021年）1、2、3、11、12、13章
	流域環境制御学	専門	森林水文学 景観管理学	・森林水文学入門（朝倉書店、大槻恭一他編著、2022年） ・森のバランス（森林立地学会編、東海大学出版会、2012年） のいずれかを選択。
		専門基礎	基礎統計学	・入門統計学 第2版（オーム社、栗原 伸一著、2021年）：1～8章
生産環境科学	灌漑利水学	専門	灌漑工学 利水工学	農業水利学（文英堂出版，飯田俊彰・加藤亮編，2021年）
		専門基礎	土壌物理学	土壌物理学（宮崎 毅，長谷川周一，粕渕辰昭著，朝倉書店、2015年）全編
	水環境学	専門	水環境工学	水圏の環境（有田正光編著，東京電機大学出版局，2016年）：第１章，第４章，第５章，第６章
		専門基礎	水理学	静水力学，ベルヌーイの定理，運動量の定理，管水路定常流
	土環境学	専門	農地環境工学	農地の役割，世界の食料生産と農地，乾燥地と環境問題，開発と環境保全，水田の構造・土壌と多面的機能，水田の地耐力と汎用化，水田の圃場整備，畑地の圃場整備と造成，農地の保全と防災（水食，地すべり）
		専門基礎	土質理工学	土の基本的性質（土の生成，組成，粒度，コンシステンシー，締固め），土中の水とその流れ，土の圧縮と圧密，土の自重による地盤内応力，土のせん断，土圧，斜面の安定
	土壌学	専門	土壌学	朝倉農学大系9「土壌学」（朝倉書店，妹尾啓史・早津雅仁・平舘俊太郎・和穎朗太編）などの教科書でカバーされている内容
		専門基礎	分析化学	酸塩基平衡，沈澱平衡，錯形成平衡，酸化還元平衡，スペクトル分析，元素分析など，基礎分析化学でカバーされている内容
	気象環境学	専門	農業気象学 園芸環境工学	地表面における微気象，植物の環境応答，農業気象災害，気候変動影響・適応，施設の環境調節
		専門基礎	気象学	大気の構造，放射，大気の力学・運動，大気の熱力学，降水過程，気候変動
	農業生産システム設計学	専門	生物生産機械学	農作業（播種、耕うん、移植、管理、収穫）機械の構造・役割・機能と農業動力（生物生産とエネルギー、内燃機関）に関して出題
		専門基礎	材料力学	棒要素の圧縮・引張、棒要素のねじり、梁のせん断力と曲げモーメント、断面の幾何学、梁のたわみ、応力とひずみ
	農産食料流通工学	専門	農産食料工学	収穫後の農産物の選別、調製、加工、乾燥、冷却、貯蔵、鮮度保持、非破壊品質評価などポストハーベスト技術と農産施設に関して出題
		専門基礎	熱工学	熱力学の法則、熱サイクル、伝熱（熱伝導、熱伝達、熱放射）、冷凍機、ヒートポンプ、空気調和
	数理モデリング学	専門	応用数学	Mathematical Biology I, II（Springer, Murray James D., 2003年）
		専門基礎	微分方程式 数値シミュレーション	解の存在と一意性の定理、不動点の安定性、解の行動、確率、統計、MATLAB, Python

環境農学専攻

教育コース	研究分野		出題領域	主な出題範囲
サステイナブル資源科学	木質資源理学	専門	植物生理学・集団遺伝学	テイツ、ザイガー植物生理学・発生学（第6版：講談社、L.テイツ、E.ザイガー、I.M.モーラー、A.マーフィー編、西谷和彦、島崎研一郎監訳）：1、2、7、8、9、10、15、16章　生態学者が書いたDNAの本 メンデルの法則から遺伝情報の読み方まで （文一総合出版、井鷺裕司・陶山義久）
		専門基礎	生物学	エッセンシャル細胞生物学（第4版：南江堂、中村桂子、松原謙一翻訳）：7、8、9、10、14、16、17章
	木質材料工学	専門	木質材料工学	木材科学講座3「物理」（海青社：高橋徹・中山義雄編）第1章～第4章のうち木材に関する専門事項、及び、木材科学講座 8「木質資源材料」（海青社：鈴木正治・徳田迪夫・作野友康 編　改訂増補）：第5章木質資源材料−第1節～第6節（第7節～第9節も参照されると、この分野の理解が進みます）、または、これら2冊と同等以上の木材及び木質材料に関する専門書
		専門基礎	木質材料基礎科学	木材科学講座3「物理」（海青社：高橋徹・中山義雄編）第1章～第4章のうち木材に関する基礎事項、及び、木材科学講座 8「木質資源材料」（海青社：鈴木正治・徳田迪夫・作野友康 編　改訂増補）：第1章木質資源と材質特性−第1節～第3節、 または、これら2冊と同等以上の木材及び木質材料に関する専門書
	森林化学	専門	木質化学	木材科学講座4 「木材の化学」（海青社、川田俊成・伊藤和貴 編）
		専門基礎	有機化学・生化学	ベーシック有機化学 第2版 （山口ら著、化学同人） PART−Ⅰ、PART−Ⅳ ヴォート 基礎生化学 （東京化学同人） 3～6章、11～12章
	生物資源化学	専門	木質多糖化学	木材学 基礎編（海青社、日本木材学会 編） 第7章（セルロース・ヘミセルロース）、第8章（紙・セルロースナノファイバー） 木材科学講座4 「木材の化学」（海青社、川田俊成・伊藤和貴 編）
		専門基礎	化学・生化学	生命系の基礎有機化学（化学同人、赤路健一・福田常彦 著）
	高分子材料学			今回は入学生の募集を行いません
	森林圏環境資源科学	専門	植物生理生態学・有機化学	1，植物の生態−生理機能を中心に−、 裳華房、 寺島一郎　著 2，ベーシック有機化学 第2版、化学同人、山口良平、山本行男、田村類　共著 のそれぞれの範囲から出題され、どちらか1問を選択する
		専門基礎	生化学・植物生理学	ヴォート　基礎生化学　第5版、 東京化学同人　1～3章の範囲
	バイオマテリアルデザイン	専門	多糖科学・生体材料学	木質の形成第2版（福島ら編） 1章（1．10細胞壁構造）、2章（セルロース）および3章（ヘミセルロース） 海青社、自然に学ぶ材料プロセッシング（三共出版）
		専門基礎	高分子化学・界面化学	高分子化学序論（岡村 ら(著)）化学同人、コロイド・界面化学 基礎から応用まで（辻井薫ら著）講談社

農業資源経済学専攻

教育コース	研究分野		出題領域	主な出題範囲
農業資源経済学	農業経済学 農業経営学 フードシステム学 農業問題研究学 漁業経済学	専門	農業資源経済学	農業経済学、農業経営学、フードシステム学、農業問題研究学、漁業経済学から1問ずつ計5問を出題し、志望研究分野の1問を解答させる。
		専門基礎	経済学	ミクロ経済学および政治経済学から1問ずつ計2問を出題し、いずれも解答させる。 なお、参考図書は次のとおりである。 ミクロ経済学：西村和雄「ミクロ経済学入門　第2版」岩波書店 政治経済学：北村洋基「改訂新版　現代社会経済学」桜井書店

※国際農村開発学研究分野：今回は入学生の募集を行いません

生命機能科学専攻

教育コース	研究分野		出題領域	主な出題範囲
生物機能分子化学	生物化学	専門	分子生物学、遺伝情報の維持・発現機構	ヴォート基礎生化学（東京化学同人　第５版）の24～27章から出題する。
		専門基礎	基礎生化学、蛋白質化学、遺伝子工学	ヴォート基礎生化学（東京化学同人　第５版）の3～7章から基礎生化学、蛋白質化学を出題する。
	水族生化学	専門	免疫学・比較免疫学	自然免疫の液性因子の構造と機能(微生物分子パターン認識、補体による異物の排除)、自然免疫の細胞性因子、遺伝子再構成による抗原レセプターの多様性、抗体のクラススイッチと免疫記憶、抗原提示とT細胞の役割、サイトカインによる免疫応答の制御、アレルギーと自己免疫、魚類の免疫系の特徴、免疫機構を利用した水産生物の感染症制御
		専門基礎	分子・細胞生物学、生化学	エッセンシャル　細胞生物学（南江堂、Alberts et al. 著、中村桂子/松原謙一監訳）（1～10章）
	海洋資源化学	専門	海洋資源化学・海洋微生物学	生命の起源と海、海洋生物毒、生物発光、マリンゲノム、高度不飽和脂肪酸（DHA, EPA）、海洋微生物の分類・同定・生理・生態・利用。食中毒。水圏生化学の基礎（恒星社恒星閣）4章、5章。過去の問題を参照のこと。
		専門基礎	生化学	ヴォート基礎生化学（東京化学同人　第５版）　II. 生体分子　第3章から第10章まで。
	生物物理化学	専門	生物物理化学・生化学	専門基礎の範囲に加えて　Mike Williamson「Essential タンパク質科学」 南江堂を基本的に出題範囲とする。
		専門基礎	生物物理化学・生化学	「ヴォート基礎生化学　第５版」東京化学同人　第１章から第13章までを基本的に出題範囲とする。
	植物栄養学	専門	植物分子細胞生物学	植物の生化学・分子生物学（学会出版センター　B. Buchananら著、杉山達夫監訳）　第１章、第２章、第３章、第４章、第７章、第9章、第13章、第15章、第16章、第17章、第18章、第22章、第23章。なお、過去の問題も参照のこと。
		専門基礎	植物生理学、植物栄養学、生化学、細胞生物学	植物生理学概論（培風館　桜井英博ら著）　第 2,3,4,6,7,8,10,11,12,13章 植物栄養学（文英堂出版　間藤徹ら著）　第 3,4章 ヴォート 生化学（下）第4版　（東京科学同人　D.Vogtら著　田宮信雄ら訳）　Ⅳ 代謝（光合成） Essential細胞生物学 第4版（南江堂　B. Albertsら著　中村桂子ら訳）8,11,12,15,16章
	農業薬剤化学	専門	有機化学機器分析学	専門基礎の範囲に加えて、有機分子の構造決定法を含む有機化学全般 現代有機化学（ボルハルト・ショアー著、大嶌幸一郎他訳）上下巻　[参考図書として、有機化合物のスペクトルによる同定法（Robert M. Silverstein他著、岩澤伸治他訳）]
		専門基礎	有機化学	現代有機化学（ボルハルト・ショアー著、大嶌幸一郎他訳）上巻
	ゲノム化学工学	専門	分子生物学・ゲノム工学	細胞の分子生物学　第6版　著者: ALBERTS, JOHNSON, LEWIS, MORGAN, RAFF, ROBERTS, WALTER。進化するゲノム編集技術（NTS出版社、真下知士、城石俊彦監修、初版）。
		専門基礎	分子生物学	Essential細胞生物学（南江堂、中村桂子、松原謙一監訳、原初第3版）項目2（P40-63）、項目7～10（P232-354）、項目14&15（P453-526）
	植物栄養生理学	専門	植物生理学 植物栄養学	専門基礎の範囲に加えて、植物の生化学・分子生物学（学会出版センター　B. Buchananら著、杉山達夫監訳）第15～18章、基礎から学ぶ植物代謝生化学（羊土社）
		専門基礎	植物生理学 植物栄養学	植物生理学概論（培風館　桜井英博ら著） 植物栄養学（文英堂出版　間藤徹ら著） Essential細胞生物学 第4版（南江堂　B. Albertsら著　中村桂子ら訳）
	微小管ダイナミクス			今回は入学生の募集を行いません
システム生物工学	遺伝子制御学	専門	ゲノム生物学	遺伝の基本に関する知識に関して、細胞の分子生物学（原書第7版、メディカル・サイエンス・インターナショナル）の第4章～7章を出題範囲とする。過去に出題した問題を参考のこと。
		専門基礎	分子生物学	分子生物学の基礎的な知識に関して、Essential　細胞生物学（原書第5版、南江堂）の1章～10章を出題範囲とする。過去に出題した問題を参考のこと。
	細胞制御工学			今回は入学生の募集を行いません
	合成生物学	専門	合成生物学	遺伝子スイッチ（オーム社、Mark Ptashne著）（p.1-154）、細胞を創る・生命システムを創る（羊土社、竹内昌治、上田泰己編）（p.18-215）
		専門基礎	システム生物学	システムバイオロジー（秀潤社、北野宏明著）序章から第11章（p.12-272）
	発酵化学	専門	微生物生産	微生物細胞の構造・機能、微生物の有用物質生産への利用
		専門基礎	応用微生物学	遺伝子から見た応用微生物学（朝倉書店、熊谷英彦他著）
	微生物工学			今回は入学生の募集を行いません
	土壌環境微生物学	専門	土壌環境微生物学	応用微生物学（文永堂出版、横田篤他著、第3版）の第3章から第10章。
		専門基礎	細胞生物学	Essential細胞生物学（南江堂、Bruce Alberts他著、原書第4版または第5版） 第8,9,13,14章を試験範囲とする。
	家蚕遺伝子資源学	専門	家蚕遺伝子資源学	カイコの科学（朝倉書店、日本蚕糸学会編）、最新応用昆虫学（朝倉書店、田付貞洋・河野義明編）を試験範囲とする。また、過去に出題した問題を参考のこと。
		専門基礎	遺伝学・ 昆虫学	Essential細胞生物学（南江堂、Bruce Alberts他著、原書第5版）：第18章細胞周期と第19章有性生殖と遺伝学を試験範囲とする。分子昆虫学（共立出版、神村ら編）：第1、2、3、7章を試験範囲とする。また、過去に出題した問題を参考のこと。

生命機能科学専攻

教育コース	研究分野		出題領域	主な出題範囲
システム生物工学	植物遺伝子資源学	専門	植物遺伝子資源学 植物遺伝子工学	「植物育種学」(朝倉書店、奥野 員敏(編)):第4章 植物遺伝資源の開発と利用、第5章 遺伝変異の創出、を試験範囲とする。また、過去の出題問題を参照すること。
		専門基礎	遺伝学 細胞生物学 発生生物学	Essential細胞生物学(南江堂、Bruce Alberts他著、原書第5版)第2～9、14～19章を試験範囲とする。また、過去の出題問題も参照すること。
	微生物遺伝子資源学	専門	微生物遺伝子工学	基礎から学ぶ遺伝子工学　第3版(羊土社、田村隆明著):第1章から第13章までを試験範囲とする。また、過去に出題した問題を参考のこと。
		専門基礎	微生物学	応用微生物学(文永堂出版、横田篤他著、第3版)の第3、4、6、9章を試験範囲とする。また、過去に出題した問題を参考のこと。
	真核細胞微生物学	専門	分子細胞生物学	細胞の分子生物学　第6版　著者: ALBERTS, JOHNSON, LEWIS, MORGAN, RAFF, ROBERTS, WALTER。 Chapter 8-9, 15-17
		専門基礎	分子生物学	Essential細胞生物学(南江堂、中村桂子、松原謙一監訳、原書第5版)第5-10章
食料化学工学	栄養化学	専門	三大栄養素 (糖質、タンパク質、脂質)	基礎栄養学(柴田克己、合田敏尚編集　南江堂、改訂第6版)第3章栄養素代謝の概要、第5章消化･吸収と栄養素の体内動態(G.食物繊維･難消化吸収性糖質の作用を除く)、第6章炭水化物の栄養、第7章脂質の栄養、第8章タンパク質の栄養を出題範囲とする。
		専門基礎	食品基礎科学	食品科学の基礎となる下記分野から出題 一般化学(参考図書として「バーロー生命科学のための物理化学 (東京化学同人、第1章～第6章, 第9章, 第10章)」、「基礎分析化学(化学同人、第1章～第4章)」)、有機化学(参考図書として「ベーシック有機化学(化学同人)」)、生化学(参考図書として「ヴォート基礎生化学(東京化学同人、第Ⅱ章～第Ⅳ章)」)
	食糧化学	専門	食品機能化学	「新スタンダード栄養･食物シリーズ13　分子栄養学」, 東京化学同人
		専門基礎	食品基礎科学	食品科学の基礎となる下記分野から出題 一般化学(参考図書として「バーロー生命科学のための物理化学 (東京化学同人、第1章～第6章, 第9章, 第10章)」、「基礎分析化学(化学同人、第1章～第4章)」)、有機化学(参考図書として「ベーシック有機化学(化学同人)」)、生化学(参考図書として「ヴォート基礎生化学(東京化学同人、第Ⅱ章～第Ⅳ章)」)
	食品分析学	専門	食品分析	食品分析学　改訂版(培風館)第1章から第8章まで
		専門基礎	食品基礎科学	食品科学の基礎となる下記分野から出題 一般化学(参考図書として「バーロー生命科学のための物理化学 (東京化学同人、第1章～第6章, 第9章, 第10章)」、「基礎分析化学(化学同人、第1章～第4章)」)、有機化学(参考図書として「ベーシック有機化学(化学同人)」)、生化学(参考図書として「ヴォート基礎生化学(東京化学同人、第Ⅱ章～第Ⅳ章)」)
	食品製造工学	専門	食品製造工学	食品工学入門(食品を造る基礎科学)の全範囲から出題。カルチュレード㈱
		専門基礎	食品基礎科学	食品科学の基礎となる下記分野から出題 一般化学(参考図書として「バーロー生命科学のための物理化学 (東京化学同人、第1章～第6章, 第9章, 第10章)」、「基礎分析化学(化学同人、第1章～第4章)」)、有機化学(参考図書として「ベーシック有機化学(化学同人)」)、生化学(参考図書として「ヴォート基礎生化学(東京化学同人、第Ⅱ章～第Ⅳ章)」)
	食品衛生化学	専門	食品衛生学	「新スタンダード栄養･食物シリーズ8　食品衛生学」, 東京化学同人
		専門基礎	食品基礎科学	食品科学の基礎となる下記分野から出題 一般化学(参考図書として「バーロー生命科学のための物理化学 (東京化学同人、第1章～第6章, 第9章, 第10章)」、「基礎分析化学(化学同人、第1章～第4章)」)、有機化学(参考図書として「ベーシック有機化学(化学同人)」)、生化学(参考図書として「ヴォート基礎生化学(東京化学同人、第Ⅱ章～第Ⅳ章)」)

【外国人留学生－博士後期課程】

1. 口頭試問

専攻	教育コース	博士後期課程　口頭試問
資源生物科学	農業生物科学	これまでの研究概要と博士後期課程での研究計画の英語要約（A4、1～2枚程度）の提出及びその内容の英語スライドによるプレゼンテーション（プレゼンテーションは日本語も可）。 プレゼンテーションの詳細については、受験を希望する分野の指導教員に必ず確認を取ること。
	動物・海洋生物科学	これまでの研究概要の英語要約の提出（A4、1枚程度）及びその内容の英語スライドによるプレゼンテーション（プレゼンテーションは日本語も可）。
環境農学	森林環境科学	これまでの研究概要の英語要約の提出及びその内容のプレゼンテーション（プレゼンテーションは日本語も可）。
	生産環境科学	これまでの研究概要と博士後期課程での研究計画の英語要約（A4、1～2枚）の提出及びその内容のプレゼンテーション（日本語によるスライド内の表記や口頭発表は可）。 英語要約の提出とプレゼンテーションの詳細については、受験を希望する分野の指導教員に必ず確認を取ること。
	サスティナブル資源科学	英語説明のあるスライドによるプレゼンテーションおよび英語発表要旨（A4、1枚程度）の提出。
農業資源経済学	農業資源経済学	外国語資格試験スコアの提出。（以下2.を参照。） 修士論文の口頭発表と口頭試問を行う。
生命機能科学	生物機能分子化学	修士論文又は業務内容の英語要約及び英語スライドによるプレゼンテーション（プレゼンテーションは日本語も可）。
	システム生物工学	修士論文又は業務内容の英語要約及びその内容のプレゼンテーション（プレゼンテーションは日本語も可）。
	食料化学工学	修士論文又は業務内容の英語要約及びその内容のプレゼンテーション（プレゼンテーションは日本語も可）。

2. 外国語試験　（農業資源経済学専攻）

・外国語試験は下記の外国語資格試験スコア証明書（写し）を入学願書とともに提出すること。

・試験当日スコア証明書（原本）※を必ず持参すること。スコア証明書（原本）は以下のものとする。

＜日本国内でTOEIC(L&R)を受験した場合＞

※ 紙の公式認定証、もしくは、デジタル公式認定証を印刷したものとする。

＜海外でTOEIC(L&R)を受験した場合＞

※ 海外受験のデジタル公式認定証（PDF）では、日本国内で証明書の確認がとれないため、紙の公式認定証とする。

＜TOEFL-iBT を受験した場合＞

※ Test Taker Score Report(PDF)を印刷したものとする。

・試験スコアの正式な証明書の取得には時間がかかる事に留意すること。

専攻	事前提出する外国語スコア証明書
農業資源経済学	※出願要件 TOEIC(L&R) 550点以上またはTOEFL-iBT 57点以上

（1）スコア証明書とは、実施団体が発行したもので、TOEIC(L&R)のOfficial Score Certificate（公式認定証）またはTOEFL-iBTのTest Taker Score Report（受験者成績書）を指す。
いずれのスコアも出願書類提出時から**2年以内**のものに限る。

（2）以下のスコアは認められない。
TOEIC IP、カレッジTOEIC、TOEFL ITPテストなどの団体受験制度
TOEIC Speaking and Writing、TOEIC Bridge、TOEIC IP Score Reportなど

（3）注意事項
・出願要件にスコアが設定されているため、出願期間内に設定スコア以上の外国語スコア証明書（写し）を提出できない者は願書を受理しないので留意すること。
なお、設定スコア未満の願書は出願できない。また、設定スコアは外国語試験の合格を意味しない。
・出願時より新しいスコア証明書（原本）を持参してもよい。最終的な評価は当日持参のスコア証明書（原本）のみに拠る。
原本に関しては試験当日の本人確認後、本人へ返却する。
・試験当日スコア証明書（原本）を忘れた場合は、令和9(2027)年1月22日(金)17時までに、九州大学農学部等事務部学生課学生係へ持参又は郵送すること。
なお、郵送の場合は、返信用封筒を同封のうえ、令和9(2027)年1月22日(金)17時必着とする。
スコア証明書（原本）提出について、提出期限厳守とし期限を過ぎてからの提出は認めない。

【外国人留学生－修士課程】

研究分野及び指導教員一覧

※研究内容等の詳細についてはホームページ（https://ag.kyushu-u.ac.jp/organization/teacher/）を参照すること。

専攻	教育コース	研究分野	教授	准教授・講師
資源生物科学	農業生物科学	植物育種学	安井　秀(注2)	山形　悦透
		作物学	石橋　勇志	
		植物生産生理学	東江　栄	齋藤　和幸(注2)
		植物病理学		飯山　和弘
		園芸学	尾崎　行生	
		動物学		岩森　巨樹
		昆虫ゲノム科学	日下部　宜宏	門　　宏明
		昆虫学		三田　敏治
		天敵微生物学	青木　智佐	
		天敵昆虫学	津田　みどり	上野　高敏
		生物保護管理学	高須　啓志（注1）	
		農業生産生態学	穴井　豊昭	酒井　かおり
		生物環境調節学	吉田　敏（注1）	江口　壽彦
		熱帯作物・環境学		濱岡　範光
		昆虫産業創生学		上原　範久
		衛生昆虫学		藤田　龍介
		昆虫DX	紙谷　聡志	
		昆虫食科学	Lee Jaeman	
	動物・海洋生物科学	家畜生体機構学	保坂　善真	西村　正太郎
		動物繁殖生理学	宮本　圭	山内　伸彦
		畜産化学	辰巳　隆一	鈴木　貴弘
		代謝・行動制御学	安尾　しのぶ	池上　啓介 森　　史
		家畜生産生態学		高橋　秀之 森田　康広
		動物生命科学	中村　真子	
		海洋生物学	太田　耕平	
		水産増殖学	小北　智之	
		水産生物環境学		島崎　洋平
		アクアフィールド科学	鬼倉　徳雄	栗田　喜久
		水族分子発生学	荻野　由紀子	
		水族発生毒性学		William Ka Fai TSE
		動物栄養生理学		スルチョードリ　ビシュワジット
環境農学	森林環境科学	植物代謝制御学	（兼）渡辺敦史	
		森林計画学	溝上　展也	太田　徹志
		森林保全学	笠原　玉青	水野　秀明
		造林学	渡辺　敦史	
		森林政策学	佐藤　宣子（注1）	藤原　敬大
		森林生産制御学	古賀　信也	榎木　勉 内海　泰弘 市橋　隆自
		流域環境制御学	久米　朋宣	智和　正明 片山　歩美
	生産環境科学	灌漑利水学	岩田　幸良	
		水環境学	原田　昌佳	尾﨑　彰則 田畑俊範
		土環境学	金山　素平	
		土壌学	平舘　俊太郎	
		気象環境学	廣田　知良	安武　大輔
		農業生産システム設計学	岡安　崇史	光岡　宗司
		農産食料流通工学	田中　史彦	田中　良奈
		数理モデリング学		Ta Viet Ton
	資源科学サスティナブル	木質資源理学	後藤　栄治	
		木質材料工学		ANDI HERMAWAN
		森林化学		小名　俊博(注2) 一瀬　博文
		生物資源化学	北岡　卓也	
		高分子材料学		巽　大輔
		森林圏環境資源科学	久米　篤	清水　邦義
		バイオマテリアルデザイン		横田　慎吾

専攻	教育コース	研究分野	教授	准教授・講師
農業資源経済学	農業資源経済学	農業経済学	前田　幸嗣	髙橋　昂也
		農業経営学	井上　憲一	
		フードシステム学	森高　正博	
		農業問題研究学		渡部　岳陽
		漁業経済学		髙橋　義文
		国際農村開発学		野村　久子
生命機能科学	生物機能分子化学	生物化学		沼田　倫征
		水族生化学	中尾　実樹（注1）	杣本　智軌
		海洋資源化学	沖野　望	
		生物物理化学	角田　佳充	西本　悦子
		植物栄養学	松岡　健	
		農業薬剤化学	有澤　美枝子	
		ゲノム化学工学	中村　崇裕	風間　智彦
		植物栄養生理学	丸山　明子	
		微小管ダイナミクス	Drummond Douglas Robert（注1）	
	システム生物工学	遺伝子制御学	平川　英樹	
		細胞制御工学	片倉　喜範	
		合成生物学	花井　泰三	
		発酵化学	竹川　薫（注1）	樋口　裕次郎
		微生物工学	中山　二郎	善藤　威史
		土壌環境微生物学		田代　幸寛
		家蚕遺伝子資源学		藤井　告
		植物遺伝子資源学	久保　貴彦	
		微生物遺伝子資源学	土居　克実	
		真核細胞微生物学		前川　裕美
	食料化学工学	栄養化学	佐藤　匡央	
		食糧化学	立花　宏文	藤村　由紀
		食品分析学	松井　利郎(注2)	田中　充
		食品製造工学	井倉　則之	
		食品衛生化学		本城　賢一

注1 ※令和9年3月31日定年退職予定者

注2 ※令和10年3月31日定年退職予定者

募集を行わない研究分野【修士課程】

＜資源生物科学専攻　動物・海洋生物科学教育コース＞
- ・家畜生体機構学研究分野
- ・動物繁殖生理学研究分野
- ・家畜生産生態学研究分野
- ・水産生物環境学研究分野

＜環境農学専攻　サスティナブル資源科学教育コース＞
- ・高分子材料学研究分野

＜農業資源経済学専攻　農業資源経済学教育コース＞
- ・国際農村開発学研究分野

＜生命機能科学専攻　生物機能分子化学教育コース＞
- ・微小管ダイナミクス研究分野

＜生命機能科学専攻　システム生物工学教育コース＞
- ・細胞制御工学研究分野
- ・微生物工学研究分野

【外国人留学生－博士後期課程】

研究分野及び指導教員一覧

※研究内容等の詳細についてはホームページ（https://ag.kyushu-u.ac.jp/organization/teacher/）を参照すること。

専攻	教育コース	研究分野	教授	准教授・講師
資源生物科学	農業生物科学	植物育種学	安井　秀（注2）	山形　悦透
		作物学	石橋　勇志	
		植物生産生理学	東江　栄	齋藤　和幸（注2）
		植物病理学		飯山　和弘
		園芸学	尾崎　行生	
		動物学		岩森　巨樹
		昆虫ゲノム科学	日下部　宜宏	
		昆虫学		三田　敏治
		天敵微生物学	青木　智佐	
		天敵昆虫学	津田　みどり	上野　高敏
		生物保護管理学	高須　啓志（注1）	
		農業生産生態学	穴井　豊昭	
		生物環境調節学	吉田　敏（注1）	江口　壽彦
		昆虫産業創生学	（兼）Lee　Jaeman	
		衛生昆虫学		藤田　龍介
		昆虫DX	紙谷　聡志	
		昆虫食科学	Lee Jaeman	
	動物・海洋生物科学	家畜生体機構学	保坂　善真	西村　正太郎
		動物繁殖生理学	宮本　圭	山内　伸彦
		畜産化学	辰巳　隆一（注3）	鈴木　貴弘
		代謝・行動制御学	安尾　しのぶ	
		家畜生産生態学		髙橋　秀之 森田　康広
		動物生命科学	中村　真子	
		海洋生物学	太田　耕平	
		水産増殖学	小北　智之	
		水産生物環境学		島崎　洋平
		アクアフィールド科学	鬼倉　徳雄	栗田　喜久
		水族分子発生学	荻野　由紀子	
		水族発生毒性学		William Ka Fai TSE
		動物栄養生理学		スルチョードリ　ビシュワジット
環境農学	森林環境科学	植物代謝制御学	（兼）渡辺　敦史	
		森林計画学	溝上　展也	太田　徹志
		森林保全学	笠原　玉青	水野　秀明
		造林学	渡辺　敦史	
		森林政策学	佐藤　宣子（注1）	藤原　敬大
		森林生産制御学	古賀　信也	榎木　勉 内海　泰弘 市橋　隆自
		流域環境制御学	久米　朋宣	智和　正明 片山　歩美
	生産環境科学	灌漑利水学	岩田　幸良	
		水環境学	原田　昌佳	尾﨑　彰則 田畑　俊範
		土環境学	金山　素平	
		土壌学	平舘　俊太郎	
		気象環境学	廣田　知良	安武　大輔
		農業生産システム設計学	岡安　崇史	光岡　宗司
		農産食料流通工学	田中　史彦	田中　良奈
		数理モデリング学		Ta Viet Ton
	サステイナブル資源科学	木質資源理学	後藤　栄治	
		木質材料工学	（兼）久米　篤	
		森林化学		小名　俊博（注2） 一瀬　博文
		生物資源化学	北岡　卓也	
		高分子材料学		巽　大輔
		森林圏環境資源科学	久米　篤	清水　邦義
		バイオマテリアルデザイン		横田　慎吾

専攻	教育コース	研究分野	教授	准教授・講師
農業資源経済学	農業資源経済学	農業経済学	前田　幸嗣	
		農業経営学	井上　憲一	
		フードシステム学	森高　正博	
		農業問題研究学		渡部　岳陽
		漁業経済学		髙橋　義文
		国際農村開発学		野村　久子
生命機能科学	生物機能分子化学	生物化学		沼田　倫征
		水族生化学	中尾　実樹（注1）	杣本　智軌
		海洋資源化学	沖野　望	
		生物物理化学	角田　佳充	西本　悦子
		植物栄養学	松岡　健(注3)	
		農業薬剤化学	有澤　美枝子	
		ゲノム化学工学	中村　崇裕	風間 智彦
		植物栄養生理学	丸山　明子	
		微小管ダイナミクス	Drummond Douglas Robert（注1）	
	システム生物工学	遺伝子制御学	平川　英樹	
		細胞制御工学	片倉　喜範	
		合成生物学	花井　泰三	
		発酵化学	竹川　薫（注1）	樋口　裕次郎
		微生物工学	中山　二郎	善藤　威史
		土壌環境微生物学		田代　幸寛
		植物遺伝子資源学	久保　貴彦	
		微生物遺伝子資源学	土居　克実	
	食料化学工学	栄養化学	佐藤　匡央	
		食糧化学	立花　宏文	藤村　由紀
		食品分析学	松井　利郎（注2）	田中　充
		食品製造工学	井倉　則之	
		食品衛生化学		本城　賢一

注1　※令和9年3月31日定年退職予定者

注2　※令和10年3月31日定年退職予定者

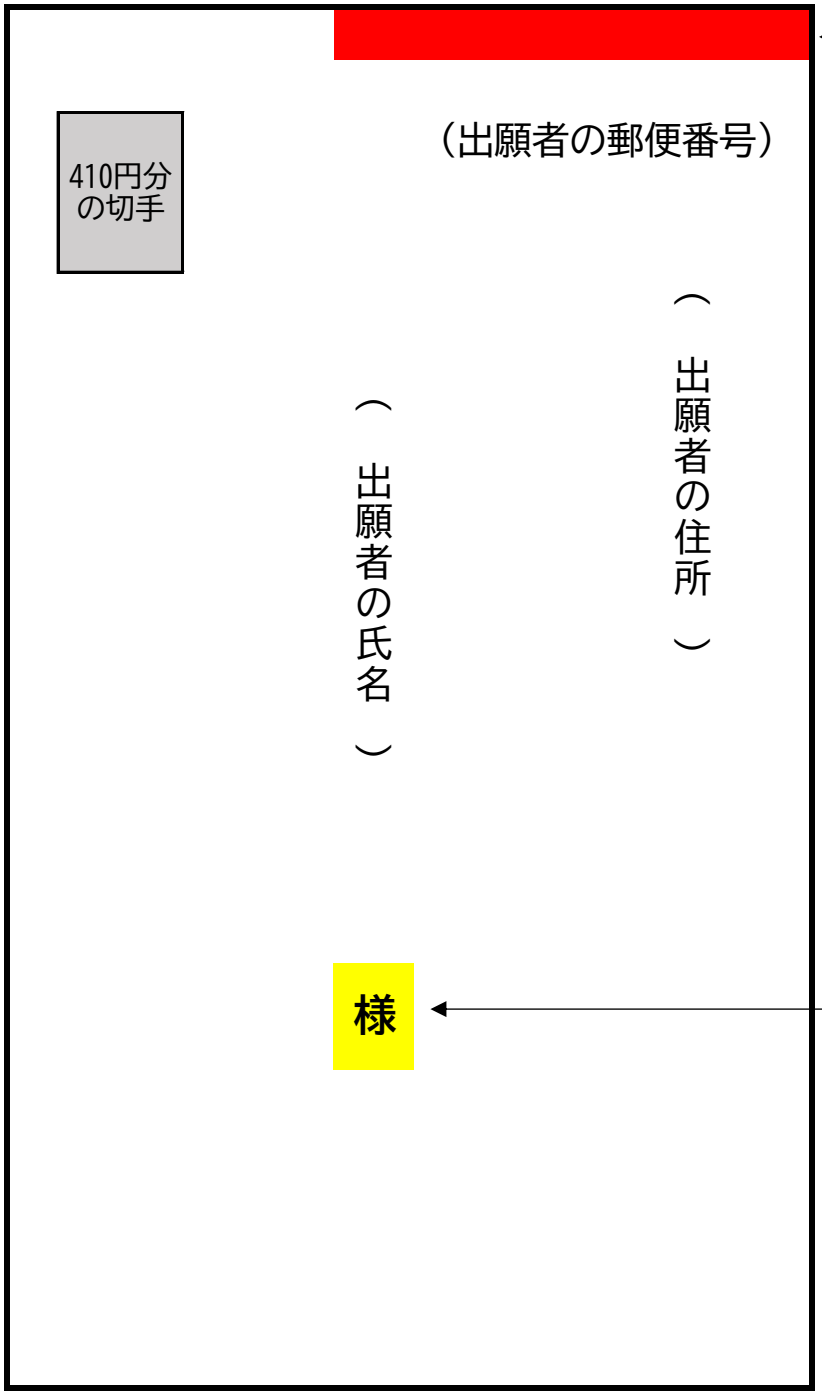
注3　※令和11年3月31日定年退職予定者

募集を行わない研究分野【博士後期課程】

＜資源生物科学専攻　動物・海洋生物科学教育コース＞
・家畜生産生態学研究分野
＜環境農学専攻　サスティナブル資源科学教育コース＞
・高分子材料学研究分野
＜農業資源経済学専攻　農業資源経済学教育コース＞
・国際農村開発学研究分野
＜生命機能科学専攻　生物機能分子化学教育コース＞
・植物栄養学研究分野
・微小管ダイナミクス研究分野

記　載　例

受 験 票 発 送 用 封 筒



封筒は長形３号（23.5cm×12cm）を使用すること

九州大学　入学検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

https://e-shiharai.net/



※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行なわず、
もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※クレジットカード・銀聯ネットは決済完了後の修正・取消はできません。
申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。➡



2 お支払い

セブン-イレブン
【払込票番号:13ケタ】

●レジにて
「インターネット支払い」と
店員に伝え、印刷した【払込票】
を渡すか、【払込票番号】を
伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

ファミリーマート
【お客様番号:11ケタ】【確認番号:4ケタ】

マルチコピー機へ
↓
代金支払い
↓
番号入力画面に進む
↓
【お客様番号】【確認番号】入力

ローソン・ミニストップ
【お客様番号:11ケタ】【確認番号:4ケタ】

Loppi へ
↓
各種サービスメニュー
↓
各種代金・インターネット受付
↓
各種代金お支払い
↓
マルチペイメントサービス
↓
【お客様番号】【確認番号】入力

レジで代金を支払い、「入学検定料・選考料取扱明細書」を受け取ってください。

ペイジー対応ATM
ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

「税金・各種料金(ペイジー)」
を選択
↓
収納機関番号に【58021】と入力
↓
【お客様番号】【確認番号】を入力
↓
支払方法を選択
(現金またはキャッシュカード)し、
検定料をお支払い

ペイジー対応ネットバンク
ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

ネットバンキングにログインし、
「税金・各種料金の払込（ペイジー）」
をクリック
↓
収納機関番号に【58021】と入力
↓
【お客様番号】【確認番号】を入力
↓
画面上で金額を確認し、
検定料をお支払い（口座引落扱い）

ネット専業銀行
楽天、auじぶん、PayPay銀行他

お申し込み確定画面から
『ネットバンクでの支払い』
をクリック
↓
支払う銀行を選択して、
インターネットバンキングにログイン
※一度、ブラウザを閉じてしまった場合は、E-支払いサイト
の「申込内容照会」からログインしてください。
その際には、11ケタのお客様番号が必要です。
↓
払込内容を確認し、
検定料をお支払い（口座引落扱い）

支払い完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された「受付番号」と「生年月日」を入力して【収納証明書】を印刷してください。
※プリンタのある環境が必要です。

VISA　JCB　AMERICAN EXPRESS　UnionPay 銀聯

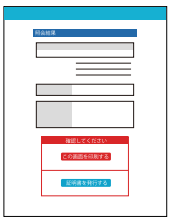
※お支払いされるカードの名義人は、
受験生本人でなくても構いません。
但し、「基本情報入力」画面では、
必ず受験生本人の情報を入力してください。

**Web申込みの際に、
支払いに利用するカードを選択
↓
画面の指示に従い、
支払手続を行ってください。**

3 出　願

【コンビニエンスストア以外でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に同封して出願。



＜注意＞
スマートフォンでお申込みされた方は、
プリンタのある環境でご利用ください。

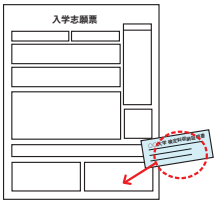
※当サイトにてお支払いされた場合、
「取扱金融機関出納印」は不要です。

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学検定料収納証明書貼付台紙の所定欄に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに
「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載
されている糊はご使用にならないでください。
「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



※コンビニでお支払いされた場合、
「取扱金融機関出納印刷」不要です。

⚠ 注意事項

●出願期間を要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。

●「入学検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。
詳しくはWebサイトをご確認ください。

●クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時にお支払いが完了します。

●カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

●一度お支払いされた入学検定料は返金できません。

●セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート以外でお支払いの方は、支払完了後、
E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、【収納証明書】を印刷して出願書類に
貼付してください。

●「申込内容照会」で収納証明書が印刷できるのは、セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、
ファミリーマート以外でお支払いされた場合に限ります。

●入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●銀聯でお支払いの方は、パソコンからお申込みください。
（携帯電話からはお支払いできません）

●取扱いコンビニ、支払方法は変更になる可能性があります。変更された場合は、Webサイト
にてご案内いたします。